

保健体育科 第1学年

1, 教科目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。

2, 評価の観点とその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

3, 評価の観点と評価方法

観点 評価方法	1学期				2学期				3学期			
	実技テスト	授業観察	ワークシート	期末考査	実技テスト	授業観察	ワークシート	期末考査	実技テスト	授業観察	ワークシート	期末考査
知識・技能	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎
思考・判断・表現	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○
主体的に学習に取り組む態度	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○

○・・・取り上げる評価方法

◎・・・取り上げる評価方法のうち特に重視するもの

保健体育（体育分野） 年間評価計画【第1学年】

（男子）

月	単元	指導内容	評価の方法・観点	
4	体づくり運動	・体ほぐしの運動、体力を高める運動。	全観点とも、次の評価資料を用いて評価を行う。 ※全期間に渡って ・授業観察 ・実技テスト ※期末テスト ※期末テスト後に ・ノート・ワークシート 点検	
5	陸上競技	・運動会での体育種目の技能（短距離走、リレー等）を身につける。		
6	(スポーツテスト)	スポーツテスト実施。		
	水泳	・記録の向上、競争の楽しさにより泳法を身に付ける。		
7	体育理論	・「運動やスポーツの多様性、調和のとれた生活」		
9	水泳	・短距離走、ハードル走、跳躍種目、投てき種目について、基本的な動きや効率のよい動きを身につける。		
	陸上競技			
10	球技(ゴール型)			・ボールや用具の操作を身につけ、ゲームについて理解する。
11	器械運動			・マット運動、とび箱運動を通して、基本技能の習得及び、自己にあった技を習得する。
12	武道	・礼儀法。正しい基本動作に基づいた技能を高める。相手を尊重する態度を育てる。		
	球技(ネット型)	・ボールや用具の操作を身につけ、ゲームについて理解する。		
	保健	・「心身の発達と心の健康」		
1	球技(ゴール型)	・基本的な個人技能、集団技能を高める。ゲームを通して、チームゲームについて理解させる		
2	ダンス	・リズムにあわせて全身で踊る。		
3	保健	・「心身の発達と心の健康」		

（女子）

月	単元	指導内容	評価の方法・観点	
4	体づくり運動	・体ほぐしの運動、体力を高める運動。	全観点とも、次の評価資料を用いて評価を行う。 ※全期間に渡って ・授業観察 ・実技テスト ※期末テスト ※期末テスト後に ・ノート・ワークシート 点検	
5	陸上競技	・運動会での体育種目の技能を身につける。		
6	(スポーツテスト)	スポーツテスト実施。		
	水泳	・記録の向上、競争の楽しさにより泳法を身に付ける。		
7	体育理論	・「運動やスポーツの多様性、調和のとれた生活」		
9	水泳	・短距離走、ハードル走、跳躍種目、投てき種目について、基本的な動きや効率のよい動きを身につける。		
	陸上競技			
10	球技(ゴール型)			・ボールや用具の操作を身につけ、ゲームについて理解する。
11	器械運動			・マット運動、とび箱運動を通して、基本技能の習得及び、自己にあった技を習得する。
12	武道	・礼儀法。正しい基本動作に基づいた技能を高める。相手を尊重する態度を育てる。		
	球技(ネット型)	・ボールや用具の操作を身につけ、ゲームについて理解する。		
	保健	・「心身の発達と心の健康」		
1	球技(ゴール型)	・基本的な個人技能、集団技能を高める。ゲームを通して、チームゲームについて理解させる。		
2	ダンス	・リズムにあわせて全身で踊る。		
3	保健	・「心身の発達と心の健康」		